

岩戸山歴史文化交流館

11月下旬開館予定



6月定例会は5月27日から6月16日までの21日間の会期で開催されました。市長より提案された議案は、11月下旬開館予定の岩戸山歴史文化交流館の設置条例案、5年ぶりに税率改正となる国保税の条例改正案、1億5728万円を追加する一般会計補正予算など議案6件で、いずれも原案どおり可決しました。また、今定例会において3つの特別委員会が設置されました。(P13掲載)

問 入館料を無料にした
主な理由は。

答 気軽に何度でも足を運んでいただき、市民の方々が八女市の歴史や文化を知るために積極的に利用して、親しみを感じていただける施設にしたという思いで無料にした。

問 料を公開するのか。

答 八女古墳群や筑紫君磐井(つくしのきみいわい)についての展示が主となるが、南北朝時代を中心とする八女東部の歴史的资料の展示や、様々な分野の企画展等も開催していきたい。

問 施設の運営にあたる職員数は。

答 館長1名、職員2名、嘱託職員3名の6名体制で、そのうちの2名が学芸員である。

問 条例に「資料の展示及び公開に関すること」とあるが、どのような資